

アカリッチ [NDX-501LM] 施工説明書



※この「施工説明書」に記載されていない方法で施工されて、故障・事故が生じた場合は、当社としては責任を負いかねますので、ご了承ください。
 ※本施工説明書や、同梱の「取扱説明書」、「付属品」は、必ずお客様にお渡しください。

- 注意**
- 設置は、この施工説明書に沿って確実に行ってください。設置に不備があると、火災・感電・事故の原因になります。
 - 飲料水に合格した水(水道水など)以外は使用しない。温泉水、井戸水などの異物を含む水にはご使用いたしません。
 - 電源コードを傷つけない、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしない。また重いものを載せたり、挟み込んだりしない。
 - 一次給水側(カラン手前)は、特に水漏れがないように確実に施工する。水漏れが起こると、大きな補償問題になることがあります。
 - 濡れた手で電源プラグの抜き差しをしない。感電の原因になります。
 - 本器は、整水器本体、カートリッジ、カラン(レバー水栓)及び同梱部品(施工用)をセットで使用する。
 - 設置場所は、下記条件を考慮し、お客様とご相談の上、設置してください。
 ・各部品は、既設の屋内配管などに、ぶつからない場所に設置してください。
 ・整水器本体、カートリッジ、カラン(レバー水栓)が付属品で設置できる場所に設置してください(カランのホースの長さを考慮してください)。
 ・コンセントの抜き差し、止水栓の開閉(調整)が可能な位置に設置してください。
 ・カートリッジ交換が容易に行える場所に設置してください。
 ・各ホースは折れ曲がったり、山形配管にならないようにしてください。
 - 使用可能給水管圧力は、0.1~0.5MPa(1.0~5.0kgf/cm²)です。但し、付属の減圧弁で、0.18~0.25MPa(1.8~2.5kgf/cm²)に減圧が必要です。
 - 整水器本体や、カランの設置場所は、お客様とご相談の上設置してください。
 - カラン(レバー水栓)の取り付け可能な天板の厚さは、8~30mmまでです。
 - 工事の際、流し台の構造や材質などの確認が可能な場合は、キッチンメーカーへお問い合わせください。
 - 配管工事はすべて建築基準法、水道法、各都市の条例規定に準じて行ってください。
 - ウォーターハンマーが発生する場合は、市販の防止器等を設置してください。

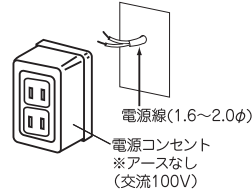
手順-1 本体の設置場所を決める

- シンク下(流し台下)のフロアユニットに、設置してください。このとき、カラン(レバー水栓)の取付位置を考慮してから設置してください。
- 給水チューブ、INホースの長さ約900mm、電解水素水ホース、サンホースは約900mmです。整水器本体側及びカラン側の各カランコードの長さは約700mmです。長さに注意して位置を決めてください。

注意

- 整水器本体が水平な位置になるように設置してください。
- 可動式(引き出し式)コンテナの引き出し内部に設置しないでください。
- 付属の「本体固定セット」を使用して設置床面にネジ固定してください。(手順-5、-10)

手順-2 コンセントの接続



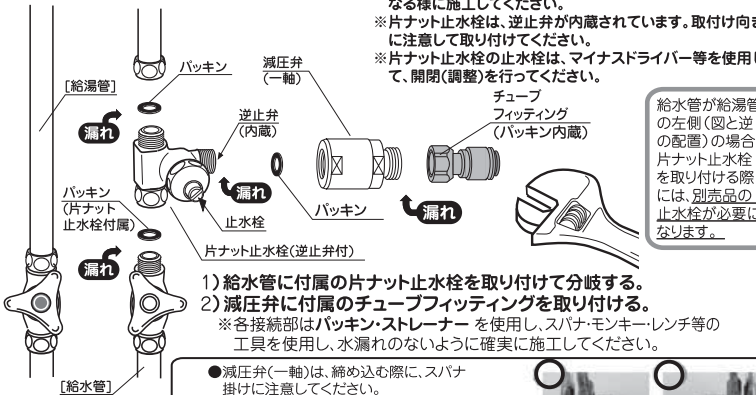
定格:AC(交流)100V 消費電力:最大180W

シンク下(流し台下)にコンセントがない場合は、電源線に電源コンセント(交流100V)を取り付けて、専用の電源コンセントを新設してください。(製品の電源コードの長さは、約1,800mmです) ※電気工事は専門の業者が行ってください。

注意

- 水道工事・電気工事は専門の業者にご依頼ください。
- 電気工事 AC100Vコンセント工事 (電気設備技術基準)

手順-3 給水配管の接続

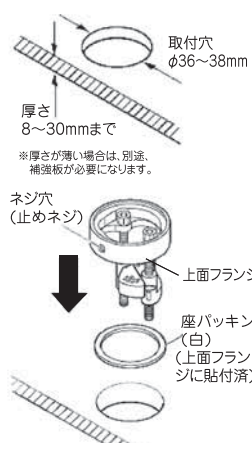


- 1) 給水管に付属の片ナット止水栓を取り付けて分岐する。
- 2) 減圧弁に付属のチューブフィッティングを取り付ける。
 ※各接続部はパッキン・ストレーナーを使用し、スパナ・モンキー・レンチ等の工具を使用し、水漏れのないように確実に施工してください。

注意

- 給水圧の高低に関係なく、付属の減圧弁は必ず取り付けてください。取り付けないと、故障や水漏れ事故につながるおそれがあります。
- 片ナット止水栓(逆止弁付)は必ず取り付けてください。取り付けないと水量調整ができません。止水栓の取付場所はお客様にお伝えください。
- 減圧弁を接続する前に、片ナット止水栓出口に「水受け」を設けて通水し、管路内のゴミや鉄くず、砂をきれいに洗い流してください。
- 給湯管には絶対に配管しないでください。
- 片ナット止水栓はお客様が開閉(調整)可能な位置に接続してください。

手順-4 カラン(レバー水栓)の取付

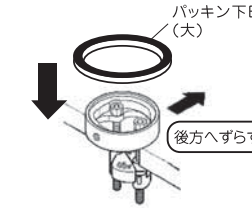


- 1) カラン(レバー水栓)の設置位置を決め、超硬ホールソー等でカウンターに取付穴をあける。

※取付穴径はφ36~38mmで、適応天板の厚さは、8~30mmです。
 ※穴あけ作業後は必ずきれいに取り除いてください。

注意

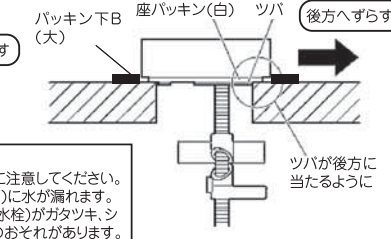
- カラン(レバー水栓)の上下の吐水口からの水が、シンク内に流れ、既設の水栓、吊り戸棚などに当たらない位置に設置してください。
- カウンターの材質にあった工具を使用して、穴あけを行ってください。
- 穴あけ後、バリやエッジをヤスリなどできれいに取り除いてください。



- 2) 上面フランジのツメを閉じた状態にして、ネジ穴が正面を向くようにして、取付穴に入れる。

※パッキン下B(大)は、上面フランジの外周に被せてください。
 ※座パッキン(白)は、上面フランジに貼り付いていないとシンク(流し台)下への水漏れの原因になりますので、必ず施工してください。

- 3) カウンターの取付穴の中心になるように、位置決めする。

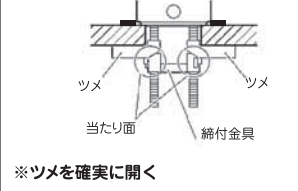


注意

- 上面フランジに浮きがないように注意してください。浮きがあるとシンク下(流し台下)に水が漏れます。
- 後方に当たらないとカラン(レバー水栓)がガタツキ、シンク下(流し台下)への水漏れのおそれがあります。

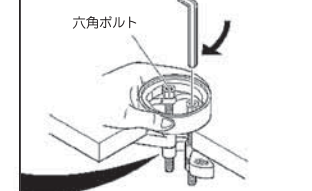
注意

- 左右のツメが確実に開くように締付金具の当たり面に、当ててください。ツメが開ききらない場合は、指でツメを開いてください。



注意

- ツメを確実に開く

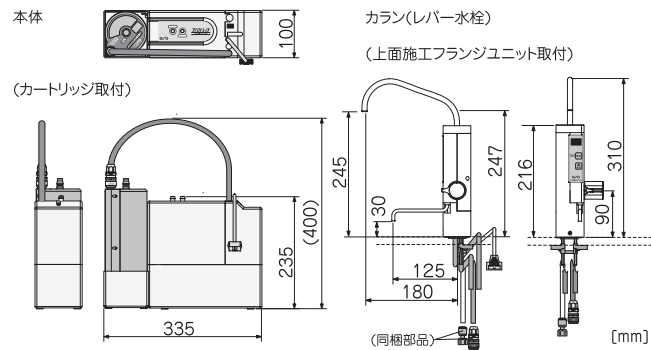


- 4) 上面フランジを手で押さえないで、六角レンチで六角ボルトを左右均等に、交互に締め付けてください。

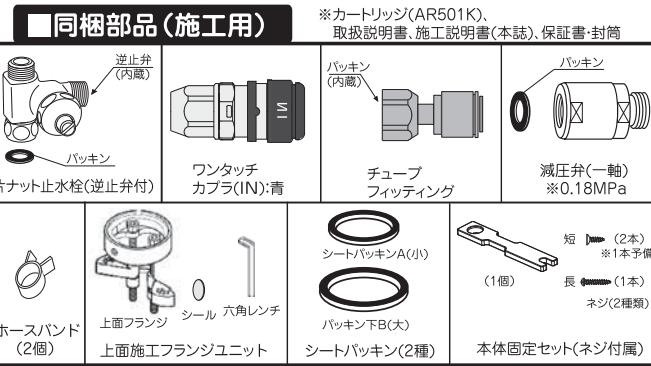
※電動ドライバーでは、2.0~4.0N・m(20~40kgf/cm)で、締め付けてください。高速回転はやめてください。

注意

- しっかりと締めてください。水栓のガタツキや水のしみ込みの原因になります。



同梱部品(施工用)を、先にご確認ください!



手順-4 カラン(レバー水栓)の取付 (つづき)

6)カラン(レバー水栓)を上上面フランジに取り付ける。

①カランコード1本と給水チューブ、INホース、電解水素水・サンホース(各1本)を、上上面フランジに通す。

※付属のシートパッキンA(小)を上上面フランジの上の段差に合わせて乗せ、カラン(レバー水栓)を取り付けます。
※カランコードを先端のコネクタとカバーに気をつけながら通してから、給水チューブを通し、その後INホース、電解水素水ホースとサンホースを通します。

②カランのネジ穴と上上面フランジのネジ穴が合うように、はめ込みます。

※カランが上上面フランジを覆い被せる様に取り付けます。

⚠注意

- カランコード先端のコネクタは、無理に力を加えると破損するおそれがあります。
- 上上面フランジにカランを取り付ける際、コードやホースの挟み込み・折れ・ねじれに注意してください。

7)カラン(レバー水栓)と上上面フランジを止めネジで確実に固定する。

①カランを押さえながら、六角レンチで上上面フランジの止めネジを締め付けます。

②付属の丸シール(銀色)を貼り、ネジ穴を隠します。

⚠注意

- カランがガタつかないようにしっかり上上面フランジに押しつけながら、止めネジを固定してください。
- カランにガタツキがあると、シンク下(流し台下)に水がしみこみます。

⚠注意

- カラン(レバー水栓)の上下の吐水口からの吐水が、シンク内に流れる位置に設置してください。シンク後板や、シンクポケット(石けん、洗剤入れ)、既設の水栓、吊り戸棚(昇降式)などに当たらない場所に設置してください。
- ホースやコードを、折り曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない。水漏れや断線の原因になることがあります。
- 天板やシンク(流し台)に穴をあけるときは、屋内配管に傷を付けない。万一、配管を破損し水漏れ等が起きると、大きな補償問題になることがあります。
- 凍結のおそれのある場所には設置しない。
- 整水器本体、カートリッジ等が凍結して破損し、水漏れするおそれがあります。
- 壁面取付タイプの水栓箇所には、取り付け出来ません。
- 配管が不明確なので、取付できなかったときに補償問題になることがあります。
- カラン(レバー水栓)の先(トップ、アンダータップ)に、他の機器を接続しない。水漏れや機器の故障の原因になります。

手順-5 本体の固定(本体固定セット)

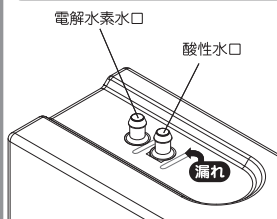
●整水器本体の底面に、付属の本体固定板をネジ締めをする。

⚠注意

- 本体固定板を取り付ける際は、本体を逆にする必要がありますので、取扱いに注意してください。
- ネジは2種類(短、長)同梱しています。短い皿ネジ(1個)を使用してください。
- ネジ締めが緩いと、固定板よりネジの頭が出る為、設置箇所を傷つけるおそれがあります。

※2ヶ所の何れかに固定

手順-6 電解水素水・サンホースの接続



1)カラン(レバー水栓)に取り付けてある電解水素水ホースとサンホースを、整水器本体に取り付ける。

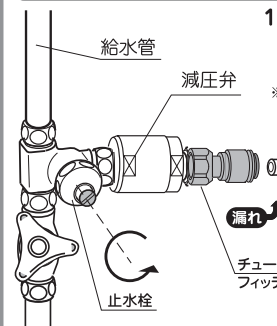
- ①電解水素水、酸性水口に取り付けてある栓を取り外してから行ってください。
- ②各ホースの長さを、たるまない、折れない程度の長さに調整(切る)する。
- ③各ホースには、「電解水素水」・「酸性水」のシールが貼ってあります。
- ④各ホースに付属のホースバンドを通し、各々の口に差し込む。

2)各ホースのホースバンドを確実に挟んで、ホースを固定する。

⚠注意

- ホースバンドは電解水素水口(酸性水口)の山部より下の位置(差し込んだホースが一段太くなった位置下)で挟んでください。
- 差し込んだホースは、回転させたり、抜いたりしないでください。水漏れの原因になります。

手順-7 カランの給水チューブの接続



1)カランの給水チューブ(白)を、減圧弁に取り付けたチューブフィッティング(手順-3)に差し込み接続する。

※チューブの外径にキズ等がある場合は、まっすぐに、つぶさないように切断してから、汚れを拭き取り差し込んでください。

2)止水栓を開き、水漏れがないか、確認します。

手順-3の漏れ箇所も再度確認してください。

※タオルなどで漏れ時の準備をする。
※しばらく確認して止水栓は閉める。
※一度、止水栓を開くと、カランの給水チューブ内部に水圧が残ります。抜いて差し直す場合は、注意してください。

⚠注意

- 給水チューブのチューブフィッティングへの差し込み部分(先端から約10mm)にキズ等や汚れがあると水漏れします。
- 給水チューブのねじれに注意して差し込んでください。

手順-11 初期動作の確認

- 1)(止水栓を開き)電源プラグをコンセントに差し込みます。
- 2)カラン(レバー水栓)の表示ランプやシグナルランプが点灯し、音(ピッッ)が鳴った後、選択、機能ボタンを押して表示が変わることを確認します。
- 3)表示、シグナルランプの点灯、ボタン操作に問題なければ、カランのレバーを回して通水、レバーを戻して止水、数回繰り返します。
通水時に各部(給水箇所)の水漏れがないことを、再度確認してください。
※手順-3(4箇所)・手順-6(2箇所)・手順-7(1箇所)・手順-8(3箇所)

手順-8 カートリッジの接続

1)カートリッジを整水器本体のカートリッジベースに入れる。

※カートリッジは、右図の様に、カートリッジのIN側・OUT側の向きを合わせて入れてください。

2)付属のワンタッチカプラ(IN:青色)のナットを外してカランのINホースに通し、ワンタッチカプラをホースに差し込み、ナットをねじ込み固定します。

※ホースの先にキズ等がある場合は、まっすぐに切断してから、ワンタッチカプラを差し込んでください。

3)カートリッジに、カランのINホース(上記:2))と整水器本体のOUTホース(カプラ水色)のカプラを差し込んだ後、ロックリングを回してロックしてください。

4)(止水栓を開き)カランのレバーを回し吐水させ、水漏れがないか、確認します。

※しばらく確認してレバーを回し、止水する。

⚠注意

- INホース、OUTホースの取付けを間違えないでください。(カプラのIN(青色)/OUT(水色)の表示)
- 通水時には、接続部からの水漏れがないか確認してください。

手順-9 カランコード(コネクタ)の接続

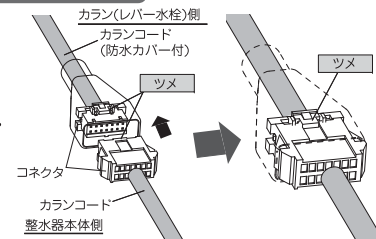
●整水器本体から出たカランコードとカラン(レバー水栓)のカランコードと接続する。

※コネクタのツメをロックさせる。

⚠注意

- コネクタの差し込みが確実でないとき正常に動作しません。
- 本体側のカランコードのコネクタ内部ピンを折り曲げないように注意してください。
- コネクタを持って取り外しを行ってください。
- コネクタを逆に接続したり、コードを持って、無理に抜き差ししないでください。

※カランコードの破損の原因になります。



奥まで確実に差し込み、コネクタのツメが確実に掛かっているか、確認してください。
取り外すときは、ツメのロックを外してコネクタを持って抜きます。

手順-10 本体の固定(本体固定セット)

●整水器本体を、設置箇所の床面にネジ締めをする。

⚠注意

- 本体と壁面との間に隙間(5mm以上)を設けてください。
- 既設の屋内配管等をキズつけないようにしてください。

4)取扱説明書の「初期動作の確認」に従って、最終確認を実施します。
※吐水量の測定、pH(水素イオン濃度)の測定

⚠注意

- カートリッジ内部に空気が残っている為、初期通水時には水泡などが出る場合があります。手順-3)の操作は5〜6分間は空気抜き用の通水が必要となります。この時、電源プラグを抜いた状態でも通水は可能です。